

週刊新社会

12月5日



2017年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 164円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel.03-6380-9960 Fax.03-6380-9963

新社会党の労働相談が
始まっています。別紙
を参照ください

12月議会始まる 5月改選に向けて議会活動総決算へ

12月議会が4日開会した。当初議案は一般議案は6件、一般会計他の補正予算案が3本。市民からの陳情はなく、請願は1件あったが、紹介議員が錯誤でいなくなったため、取り下げとなる見込み。この他に人事院勧告に基づく職員の給与改定議案とそれに伴う補正予算他が出てくる。ただ、市長など常勤特別職や議員は期末手当の月額を据え置く意向となったため、関連議案は出ないという。

一般市政報告から主なものを紹介

まめバス運行見直し

検討が続けられているまめバスの運行については、①赤字補填額上限を年間1億円（現在6,800万円）に引き上げ、②運行ルートと本数を12ルート（現在6ルート）、平日124便、土日祝日97便、車両13台（うち予備2台、現在10台、うち予備1台）とする。

また、まめバス運行の新コンセプトとして「それぞれの生活圏域に合った、より生活に密着した便

公契約条例賃金

導入当初は最低賃金より101円高かった公契約条例の賃金下限額は、引き上げているものの、最低賃金の引き上げ額を下回り、現在差は23円と迫られている。

このままでは再来年10月には最低賃金が上回る恐れがでてきた。これは現行基準が高卒現業職の初任給を基準としているためであるが、その後、職員の時給換算で年間労働時間を見直しており、

利なまめバス」とし、生活圏域に合った直線的なルートとして時間短縮を図る。また、全ルート土日祝日運行を行う（詳細は市のホームページに6日にアップされる）。

この素案に対して6日から来

連続立体交差事業

東武鉄道の高架事業は2023（平成35）年度完成を目標に、本年度中に仮線運行を行う。それに伴い、来年1月9日から野田市駅の改札

それに合わせれば大幅引き上げとなり、当面は問題は解消するのではないかと思う。

今後新しい基準を設計する公契約審議会が注目される。ソウル市が取り入れ、韓国内の多くの都市が導入している最低賃金に上乗せする生活賃金も参考になる。20年には最賃を1万ウォン（1000円、全国一律）にするというムン・ジェイン韓国大統領の方針と、ソウル

低賃金で保育士不足

保育士不足で待機児童解消が進まない。保留者を含む待機児童数は11月1日現在で208人。このうち149人が保育士不足によるもの。

直営を続けるための任期付き保育士応募が少ないという。コスト優先の保育事業が市民サービス低下につながっているのは明らか。転換が必要だ。

月4日までパブリックコメントを行って修正、調整後、新計画を確定する。

なお、運賃や経費負担の仕組み、まめバス以外の交通手段などについては引き続き検討される。

は、現在の位置から梅郷駅側（現タクシープール）に移る。

愛宕駅については仮線切り替えと共に東口仮改札口が運用され、駅の東西から乗降できるようになる。ただ、現在の駅舎を取り壊すために来年10月ごろから西口改札は使用できなくなる。高架切り替え工事は22年度末に完了見込みで、その後は駅の東西から利用できることになる。

市などの生活賃金の水準調整も今後の課題だ。しかし、ソウル市長のパク・ウォンスン氏は果敢に生活賃金を上げている。

議案 9 件の紹介 補正予算以外はほぼ法改正連動

議案 1 号 所得税法改正に伴い、「控除対象配偶者」が「同一生計配偶者」変更されたため、税賦課徴収条例、心身障がい者福祉手当条例及び養育者支援手当条例の表現を改めるなどの一部条例改正案。
議案 2 号 公営住宅法の一部改正に伴い、認知症等により収入申告が困難な入居者に対する家賃決定規定の整備に関して、市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正案。
議案 3 号 養護と特養からなる複合老人ホーム（亀野園）の養護枠を減らし、その分を特養枠にする

複合老人ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正案。
議案 4 号 宮崎第 3 学童保育所（宮崎小学校内）を 1 月 1 日から開設するための留守家庭学童保育所設置条例の一部改正案。
議案第 5 号・第 6 号 市道の認定（1 路線）と廃止（3 路線）。
議案 7 号 一般会計補正予算案（第 4 号）は、歳入歳出それぞれに 5 億 4273 万 9 千円を追加し、総額を 488 億 5824 万 8 千円とするもの。
議案 8 号 下水道事業特別会計補

表 1 今後の議会日程

期日	開議予定時刻	会議予定	主な会議内容
11 日 月	10 時	本会議	議案質疑、委員会付託
12 日 火	10 時	本会議	一般質問
13 日 水			
14 日 木			
15 日 金	10 時	総務	議案等の審査
	13 時 10 分 上記終了後	文教福祉 建設	
21 日 木	10 時	本会議 (閉会)	委員長報告 質疑、討論、採決

正予算案（第 2 号）は歳入歳出それぞれに 4696 万 1 千円を追加し、総額 38 億 1096 万 1 千円とするもの。
議案 9 号 介護保険特別会計補正予算案（第 2 号）は歳入歳出にそれぞれ 2676 万 7 千円を追加し、総額を 111 億 7230 万 4 千円とするもの。

おさなみ議員の一般質問 国保・介護・農業・職員定数

おさなみ議員の一般質問を紹介する。
まず、国民健康保険制度の保険者努力支援制度について、なぜ野田市の評価が低かったのか、どうすれば高まるのかをたずねます。
もちろん、これは少ない椅子をめぐる競争や成果主義と同じで、結果的に厳しい滞納取り立てなどにつながるもの。しかし、なぜ低い評価を受けたのか、それを知らなければ始まらない。
介護保険制度についても、「自立支援」「重度化防止」に成果を上げた市町村へ財政的に支援するシステムが始まろうとしている。来年度から始まる第 6 次介護保険計画では、負担増などの課題も多いが、成果主義による介護切りが始まる

ことは許せないので注意を促す。
農業振興策と農産物直売所についても取り上げる。
野田市は道の駅構想を持っているが、国土交通省の道の駅にこだわらず、より低廉で効果的な農産物生産や販売システムを提案する。
まず、新清掃工場建設に伴い、そこから出てくる廃熱を利用したハウス園芸と、現清掃工場施設と隣接のこうのとりの施設を連動・活用して直売所をつくれれば、農業振興と地域おこしに道が開ける。ただ、行政は協力にとどめ、民間ベースでやる必要がある。
最後に職員定数の改善について問う。この間の行政ミスが多発は職員減らしの行革によるもので

表 2 一般質問日程と順位

日程	順位	氏名	会派
12 日 火	1	山口克己	政清会
	2	内田陽一	公明党
	3	小倉良夫	民進連合
	4	織田真理	日本共産党
	5	長南博邦	新社会党
13 日 水	6	船橋繁雄	みん清クラブ
	7	小室美枝子	市民ネット
	8	栗原基起	新しい風
	9	谷口早苗	無所属の会
	10	木名瀬宣人	政清会
14 日 木	11	中村あや子	公明党
	12	小椋直樹	民進連合
	13	星野幸治	日本共産党
	14	竹内美穂	政清会
	15	滝本恵一	民進連合
	16	鶴岡 潔	政清会

はないか。そのことによって市民サービスが低下している。指定管理者に移行しても最終責任は行政であり、職員定数を増やすべきではないかとたずねます。